

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ  
トゥー・ミー

# To Me

5

May 2015  
Vol.240

登米市の予算とまちづくり  
平成 27 年度予算の概要

**PICK\_UP**

皆さんの活動を支援します

**ときめき人**

東和中 3 年

幸野 紅映さん

**【特集】**

## 温故創新

**【今月の表紙】**

登米総合産業高校入学式より  
新入生代表宣誓

(関連記事 2 頁～5 頁)

# それぞれの思い

関係者に聞く

## Takashi Saito

旧上沼高校 齋藤隆校長



私自身、登米学区は初めてで当初は不安がないわけではありませんでした。しかし、それはすぐに取り越し苦労だと気づきました。生徒や同窓会、地域と本当に良い人たちが集まり、その三つと教師の調和が取れた本当に良い学校でした。互いを思いやれる最高の関係でした。この伝統は新しい学校に引き継がれると確信しています。

## Kiyotaka Oikawa

上沼高校同窓会 及川清孝会長



在校当時、生徒の大半は農家の長男でした。中田に住む農家の長男は、農高(愛称)を目指すのが当たり前でした。農高のカラーはリーダーシップを取れる人間が多いこと。卒業後は、農業はもちろん、地域活動の中心となって活躍する人たちが多くいました。農業が厳しいこの時代、牽引役となる人材が、数多く輩出されることを期待します。

## Takahiro Miura

旧米谷工業高校 三浦孝洋校長



米谷工高の生徒は、将来への目標や展望が入学時からしっかりしていました。職業系の学校なので、自分が何になるのか目的意識を持って入学する生徒たちばかりでした。校訓は「強く、正しく、明るく」。この校訓を忘れず、新しい学校でも活躍し、すばらしい社会人になることを期待しています。

## Kiichi Ishikawa

米谷工業高校同窓会 石川喜一会長



私は自動車科で学び、卒業後自動車メーカーに就職しました。在学していた頃、国内でも自動車科を設置していた工業高校は数えるほどしかなかったため、県内外を問わず、多くの人がその門を叩きました。結果的に閉科となってしまいましたが、総合産業高校も、そこでしか得られないものを伝えられる学校であってほしいです。

## Takenori Gotou

旧米山高校 後藤武徳校長



米高は、合併前の米山町の農業を中心としたまちづくりの中にあり、農業の発展と共にまちも学校も成長してきたと認識しています。地域と相思相愛で、どちらかが欠けていたら、今の姿はありません。生徒たちには不易流行(変えてはいけないものと変えるもの)の精神を忘れず、未来のまちづくりに貢献できるよう成長してほしいです。

## Tadashi Yanbe

米山高校同窓会 山家忠会長



私が高校2年生に進級する際、分校から米山農高へと移行しました。現在の総合産業高校の2年生と同じような状況でした。「新しい学校を盛り上げよう」と私たち生徒はもちろん、先生や地域の皆さんと共にいろんなことに取り組んだことを覚えています。しかし、中心になるのは生徒自身。自分たちの学校は自分たちが盛り上げないと。



### 米谷工業高等学校

校訓：強く 正しく 明るく



### 上沼高等学校

校訓：自律 勤勉 調和



### 米山高等学校

校訓：敬虔 誠実 精励 調和

米谷工業高等学校	上沼高等学校	米山高等学校
昭和23年 宮城県登米高等学校校定時制課程 米谷分校開校式挙行。米谷、浅水、 米川三町村組合立宮城県米谷高 等学校設立認可。	昭和23年 宮城県上沼農業高等学校と改称 分校。	昭和23年 宮城県米山農業高等学校と改称 分校。
昭和36年 制、機械科、電気科、自動車科) 設立認可。	昭和36年 宮城県上沼農業高等学校米山分 校と改称。生活科を設置。	昭和36年 宮城県米山農業高等学校の新設 を公示。
昭和47年 米谷工業高校(女子)認可。	昭和47年 宮城県上沼農業高等学校米山分 校として開設。農業科(男)、 家庭専修科(女)を募集。	昭和47年 宮城県上沼農業高等学校米山分 校と改称。農業科を募集。
平成元年 工業計測科(女子)認可。	昭和41年 宮城県上沼農業高等学校米山分 校と改称。生活科を設置。	昭和41年 宮城県上沼農業高等学校米山分 校と改称。生活科を設置。
平成15年 電子機械科、電子科、情報電子 科を学科学科改編。	昭和42年 宮城県上沼農業高等学校米山分 校と改称。生活科を移行。	昭和42年 宮城県上沼農業高等学校米山分 校と改称。生活科を移行。
平成25年 自動車科閉科。	昭和56年 農業科1学級、生活科1学級を 普通科2学級に転科。	昭和56年 農業科1学級を産業技術科1学 級に転科。
	昭和58年 宮城県米山高等学校と改称。	昭和58年 宮城県米山高等学校と改称。
	昭和62年 産業技術科を園芸ビジネス科へ 転科。	昭和62年 産業技術科を園芸ビジネス科へ 転科。
	平成18年 上沼村立宮城県上沼実業学校と して開校。	平成18年 上沼村立宮城県上沼実業学校と して開校。
	大正15年 宮城県上沼農業学校と改称。	大正15年 宮城県上沼農業学校と改称。
	昭和18年 宮城県上沼農業高等学校と改称 分校。	昭和18年 宮城県上沼農業高等学校と改称 分校。
	昭和23年 定時制課程併設(中心校は石森 分校)。	昭和23年 定時制課程併設(中心校は石森 分校)。
	昭和26年 定時制課程 米山分校場開設	昭和26年 定時制課程 米山分校場開設
	昭和31年 定時制課程石森分校廃止	昭和31年 定時制課程石森分校廃止
	昭和38年 農業土木科を設置	昭和38年 農業土木科を設置
	昭和45年 米山分校独立昇格し、宮城県米 山農業高等学校になる。	昭和45年 米山分校独立昇格し、宮城県米 山農業高等学校になる。
	昭和62年 生活科を生活科学科に転科	昭和62年 生活科を生活科学科に転科
	平成5年 宮城県上沼高等学校と改称。農 業科、環境土木科、普通科に学 科改編。	平成5年 宮城県上沼高等学校と改称。農 業科、環境土木科、普通科に学 科改編。
	平成18年 農業技術科、普通科に学科改編	平成18年 農業技術科、普通科に学科改編
	平成27年3月31日 3校とも閉校	平成27年3月31日 3校とも閉校

# 温故 創新

平成27年3月31日、市内の歴史と伝統ある3校はその歴史に幕を下ろした。そして、平成27年4月8日。その三つの高校は「登米総合産業高校」となり、新たな歴史を刻み始めた。

米谷工高、上沼高、米山高の3校と登米高の商業科が再編、統合するため、前述の3校が27年3月31日、長い歴史に幕を下ろした。米谷工高は、昭和23年に県立登米高等学校定時制課程米谷分校として開設。昭和36年に宮城県米谷工業高等学校となった。学区唯一の工業高である米

谷工高は、あいさつや服装、身だしなみなど、基本的な生活習慣の指導に重点を置いてきた。卒業後、生産現場で即戦力となるためには、教養や技能はもちろんのこと、社会人として当たり前の素養を身につけるべきだと考えたからだ。これらの教育活動が地域の企業から評価され、毎年100%の進路を達成してきた。

上沼高は、3校の中で最も歴史が古く、大正15年に上沼村立宮城県上沼実業学校として開校。昭和23年には宮城県上沼農業高等学校となり、この地域の基幹産業である農業

を支え、農業近代化に対応し現代農業に即応する人材を多く輩出してきた。特に地元中田町では農家の長男は農高進学と言われるほどであった。しかし、平成5年に世の中の構造変化に伴い、農業高校から普通科を併設した総合高校として生まれ変わり、今日を迎えた。米山高は昭和26年に宮城県上沼農業高等学校米山分校として開設。昭和45年に宮城県米山農業高等学校となった。米山高も上沼高同様、地域の農業を支え、変化する農業情勢に対応できる人材を多く輩出。当時から米山町は、農業に重点を置いたまちづくりを進めてきた。町と学校、地域が三位一体となったまちづくりは、農業のまち「米山町」のイメージを確立した。学校がなくなるということは悲しいこと。在校生や卒業生はもちろんだ、そこに関わってきた地域の人たちにとっても本当にうれしいことだとも思う。しかし、学校はなくなっても、築いてきた歴史や伝統はなくなることはない。米谷工62年、上沼高89年、米山高44年の歴史と伝統は、新しい学び舎の登米総合産業高校に受け継がれる。

## 生徒会長に聞く

電気科 3年  
渡邊壮さん 南三陸町志津川



Takeshi Watanabe

新たな一歩を踏み出しました。新しい校訓は、産業について学ぶのに必要なものだと感じています。まずは目標を立てて挑戦したいと思っています。新たな高校では柔道部への入部を考えています。

## 新入生に聞く



Masayuki Takahashi

農業科 1年  
高橋正雪さん 津山町入沢

将来すし職人になりたいのと、家が農家なので農業科を選びました。米や野菜づくりの技術を学んでいきたいです。部活は家庭部に入部する予定で、いろいろな料理を学びたいと思っています。

福祉科 1年  
三浦聖斗さん 中田町金谷



Masato Miura

将来、人を助ける仕事をしたかったので、福祉科を選びました。また、東和中でアーチェリー部に所属、高校でもやりたかったのでこの学校を選びました。全国大会を目指して頑張ります。



Daiki Kumagai

情報技術科 1年  
熊谷大輝さん 中田町大柳

中学でパソコン部に所属、電子情報に興味があったことと、姉が米谷工情報電子科で、いろいろと話を聞いて興味深くなりました。将来は、在学中に学んだ事が多く生かせる仕事に就きたいです。

電気科 1年  
首藤新さん 東和町米川4区



Arata Syutou

小さい頃からモノづくりの仕事をしている父を見て、自分もその道に進みたいと思いつきました。卒業後は、関東方面で地下鉄の配線などに携わる仕事がしたいと思っています。



Kasumi Fujiwara

商業科 1年  
藤原可純さん 米山町六軒屋敷

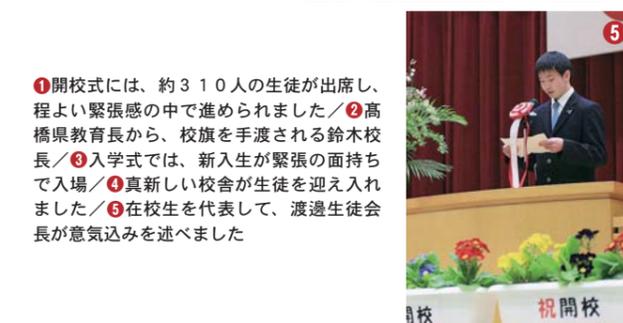
将来公務員になりたいので、商業の知識を習得し生かしたいと思いつこの学校を選びました。また、部活動も豊富なところが魅力でした。今のところ、アーチェリー部に興味があります。

機械科 1年  
千葉唯杜さん 迫町赤沼



Yuito Chiba

プラモデルや想像してモノを作るのが好きなので、将来そういった職業に就きたいと思いつ機械科を選びました。自分で決めた進路なので、しっかり勉強していきたいです。



①開校式には、約310人の生徒が出席し、程よい緊張感の中で進められました。②高橋県教育長から、校旗を手渡される鈴木校長。③入学式では、新入生が緊張の面持ちで入場。④真新しい校舎が生徒を迎え入れました。⑤在校生を代表して、渡邊生徒会長が意気込みを述べました。



## Principal Interview

登米総合産業高校  
鈴木琢也 校長  
Takuya Suzuki



まずは、開校にあたり同窓会や地元企業をはじめとする地域、市など多くの皆様のご協力をいただきました。皆さんの力添えがあったからこそ、無事にこの日を迎えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

この学校は校舎だけではなく、その取り組みも新たなものになっています。教育活動での特色は連携と専門性の追求です。学科間連携では、自分の学科だけではなく、違う学科の内容も学習します。例えば、福祉科の生徒が、機械科の内容を学ぶことで、福祉分野に必要な機械を開発する

ことなどが期待できます。専門性の追求では、市内の企業に協力いただき、企業、工場見学や職場体験、実践指導をいただくなど、専門分野を追求した取り組みを予定しています。地域とともに、視野が広く、懐の深い産業スペシャリストの育成を目指しているからです。

校訓である「高志・挑戦・創造」は、生徒だけではなく、学校と教師にも向けられています。学校に関係する全ての人たちと、統合3校の歴史や伝統とともに、新たなものをつくっていきたくと思っています。

登米総合産業高校は上沼高校の敷地に新設。開校式には、約310人の生徒のほか県や市の関係者が出席し、はじめに高橋仁宮城県教育長が開校を宣言した。このあと、鈴木琢也校長が「産業界に貢献できる人材を育成し、地域の期待に応えるよう全力を尽くしていきたい」と式辞を述べた。続いて入学式が行われ、在校生を代表して、3年生の渡邊壮さんが「力を合わせて第一歩を踏み出しましょう」と意気込みを述べた。午後から開かれた入学式では、布施孝尚市長が「これまで各校が培ってきた精神を継承し、登米総合産業高等学校の校訓である「高

志・挑戦・創造」を胸に、新たな校風や伝統を創造する担い手となっていたいただきたい」と式辞を述べた。新たな高校のキーワードは「連携」。学科間連携と地域との連携。地域との連携に当たっては、当然行政も関わっていく。総合産業高校だけではなく、佐沼高、登米高とも連携し、さまざまな取り組みをしていければ、新たなまちづくりのカタチができるのではないだろうか。合併10周年を迎え、新たな10年に向かって歩みだした登米市。既存3校が一つになって歩み出した総合産業高校。その姿は重なる。このタイミングで開校したのは、偶然ではなく、必然だったのかもしれない。新たな時代、この高校の発展とともに、登米市も発展して行く姿を思い浮かべて。

平成27年4月8日、三つの高校が登米総合産業高校として生まれ変わった。その姿は、新たな時代へ向かう登米市と重なって見えた。

# 新しきを創る幕開け

# 温故 創新

# 緑の人工芝に リニューアル



①関係者らによるテープカット。いよいよオープンとなりました  
②③テープカット後は、地域住民に開放。体操やグラウンドゴルフで楽しみました

## 幅広い目的に対応

Yasuyuki Shima



島 教育委員会  
生涯学習課  
主任 係長

人工芝にしたのは、雨の影響を受けにくく、転んだ際の傷やけがが軽く済むからです。芝は他の施設より長くなっており、クッション性が優れています。また、天然芝と違って寝転がっても肌がかゆくならないのも、人工芝の特徴です。

このグラウンドを多目的としたのは、特定のスポーツだけではなく、より多くの人たちに利用いただきたいからです。本格的に競技として取り組む人から、健康維持のために軽い運動を楽しむ人まで幅広く利用いただけます。屋外にある地域の体育館と考えていただければと思います。



オープンから2日後の4月4日、暖かな春の日差しの中、小学生たちがサッカーを楽しんでいました

## USER'S VOICE

Yudai Chiba

千葉雄大くん  
南方小4年



人工芝は土と違って、汚れないし、ボールが蹴りやすいのでいいです。それと、転んでも痛くないので、スライディングやダイビングヘッドを思い切ることができます。

グラウンドを利用した皆さんに感想を聞きました

Syota Hojo

北條翔太くん  
登米小5年



土より、人工芝のほうがいいので、近くに来てよかったです。人工芝だと、天然芝と違って、一年中サッカーができるのでうれしいです。もっと練習してうまくなりたいです。

Shigeko Oikawa

及川しげ子さん  
東和町米谷3区



リニューアル前から、グラウンドゴルフで使っていました。とてもきれいになったので、新鮮な気持ちです。人口芝と土では、転がり方が違うので、早く慣れたいですね。

東日本大震災により使えなくなっていた東和総合運動公園多目的グラウンドの修復工事が完了し4月2日、オープニングセレモニーが開催され地域住民や関係者ら約200人が出席しました。

セレモニーでは、布施孝尚市長が「人工芝は雨が降っても使用できます。競技技術の向上や健康増進、地域の交流に役立てていただきたい」とあいさつ。関係者らによるテープカット後、グラウンドが一般開放され、市民がサッカーやグラウンドゴルフなどで楽しみました。

市では、平成25年から震災で崩壊した野球場とテニスコート、グラウンドの3施設を修復工事を実施していました。総工費は約10億円で国の災害復旧費補助金などを活用。テニスコートは昨年春完成し、野球場は本年7月から利用可能の予定です。

多目的グラウンドはこれまでの土から人工芝に整備され、総面積は1万5674平方メートル。ラグビー、一般用サッカーは1面、少年用サッカー、少年用野球場は2面取れ、アチエリーやグラウンドゴルフ、運動会用200メートルトラックなどにも対応しています。

# 平成27年度予算の概要をお知らせします

**平成27年度市全体予算  
905億4658万円**

登米市には、市の基本的な事務や事業を行う一般会計(※1)のほかに、国民健康保険特別会計など六つの特別会計(※2)と病院事業など三つの企業会計(※3)があります。  
会計ごとの予算額は左記のとおりとなりました。

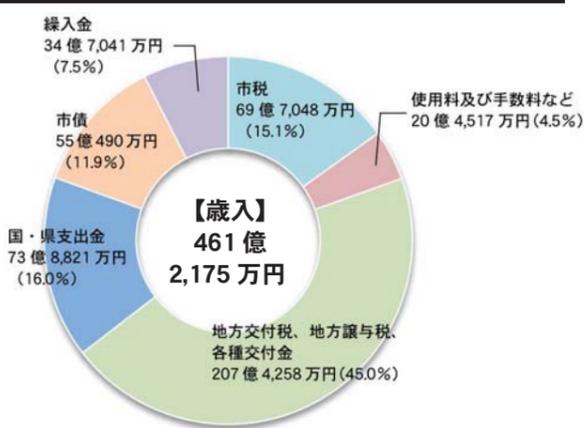
## ■会計別予算額

会計名	平成27年度予算額	全体割合
<b>一般会計</b>	461億2,175万円	50.9%
<b>特別会計</b>	294億681万円	32.6%
国民健康保険特別会計	122億4,347万円	13.5%
後期高齢者医療特別会計	7億9,695万円	0.9%
介護保険特別会計	89億860万円	9.9%
土地取得特別会計	10億9,668万円	1.2%
下水道事業特別会計	52億2,600万円	5.8%
宅地造成事業特別会計	11億3,511万円	1.3%
<b>企業会計</b>	150億1,802万円	16.5%
水道事業会計	55億5,556万円	6.1%
病院事業会計	89億9,481万円	9.9%
老人保健施設事業会計	4億6,765万円	0.5%
<b>総合計</b>	905億4,658万円	100%

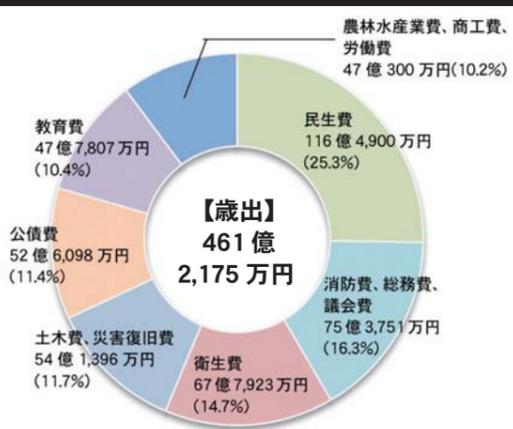
**一般会計の予算は  
総額約462億円**

平成27年度の一般会計の予算は461億2,175万円、前年度に対して15億1,307万円の増となりました。  
歳入では、地方交付税などの交付金が約208億円、国・県支出金が約74億円、これらを合わせると約

## 一般会計歳入予算



## 一般会計歳出予算



282億円に達して歳入合計の61%を占めており、依然として国や県などへの依存度合いが高い状態にあります。  
歳出では、福祉向上などの民生費が約117億円と最も多く、次いで市民を守る消防・救急や市の管理業務である総務費、議会運営関連経費を合わせて約76億円、健康づくりや環境対策に使われる衛生費が約68億円と続いています。

**【会計区分の解説】**  
▼一般会計(※1) 地方交付税、国・県支出金、市税を主な財源とし、福祉、教育、建設などの市政の基本的な施策にかかる経費の会計  
▼特別会計(※2) 国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業で、保険料など特定の財源で賄われ、一般会計と区別して経理する必要がある会計  
▼企業会計(※3) 病院事業や水道事業など企業的な事業で、サービスを受ける人の料金で運営することを原則とした会計

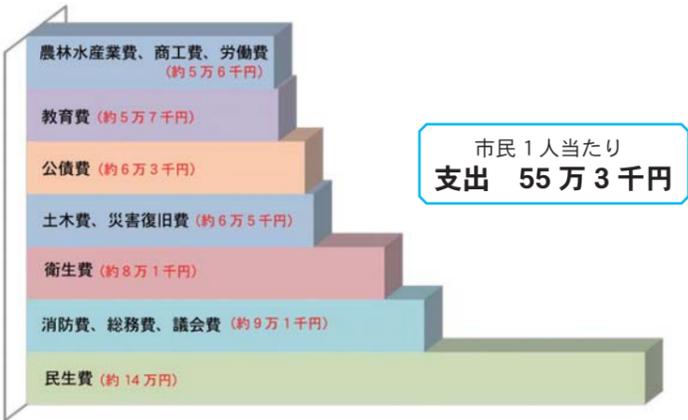
**【歳出科目の解説】**  
▼民生費 子どもやお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援などに必要な経費  
▼消防費、総務費、議会費 市民を守る消防・救急や市の管理業務、議会運営などに必要な経費  
▼衛生費 健康づくりや環境対策などに必要な経費  
▼土木費、災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修に必要な経費  
▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済に必要な経費  
▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般に必要な経費

▼農林水産業費、商工費、労働費 豊かな農林業の発展や、多様な商工業の進展、雇用対策などに必要な経費  
▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般に必要な経費  
▼民生費 健康づくりや環境対策などに必要な経費  
▼土木費、災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修に必要な経費  
▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済に必要な経費  
▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般に必要な経費

## 市民1人当たりでは こう使われます

本年度の一般会計予算約462億円を市民1人当たりで考えると、左記のようなグラフになります(平成27年3月末の本市の人口8万3321人で計算しています)。  
分野別で一番大きなウェイトを占めている民生費は、市民1人当たりで約14万円、次に大きな消防費、総務費、議会費は約9万1千円、衛生費が約8万1千円と続きます。

## ■市民1人当たりで計算した場合



## 多彩な事業に取り組みます (平成27年度の主要な施策)

※赤字は新規事業  
①人と自然が共生する『うるおい』のあるまちづくり 57億6391万円(市民1人当たり約7万円)  
▼一般廃棄物第二最終処分場整備事業 / 一般廃棄物第二処理施設整備事業 / 下水道整備事業

②大地の恵みと人の技を生かした『活力』のあるまちづくり 37億335万円(市民1人当たり約4万円)  
▼産地水産業強化支援事業 / 中高校生起業体験プログラム実施事業 / 蛭沢地区工業団地整備事業 / 特用林産物総合支援事業 / 農地中間管理事業 / ビジネスチャンス支援事業 / 水稲直播推進事業 / 登米ふるさとベンチャー創業支援対策事業 / 水田農業構造改革対策事業 / 畜産総合振興対策事業 / 園芸作物支援対策事業 / 三陸自動車道地域活性化施設整備事業 / 大洞地区工業団地整備事業



③安全に安心して暮らせる『やすらぎ』のあるまちづくり 155億3161万円(市民1人当たり約19万円)  
▼防犯カメラ設置事業 / 認可保育所等新規開設運営費助成事業 / 中田児童クラブ室等増築事業 / 地域型保育

給付事業 / ソーラー型LED街路灯設置事業 / 歩道のリノーク事業 / 防犯灯整備事業 / 子ども医療費助成事業 / とめ健康ウォーキング推進事業 / 消防資機材整備事業 / 固定系防災行政無線屋外子局施設修繕事業 / 検診事業 / 任意予防接種助成事業 / 防火水槽整備事業 / 消防出張所再生可能エネルギー等導入事業 / 消防団車両等整備事業 / 病院事業(繰出金)

④便利で快適に暮らせる『ゆとり』のあるまちづくり 41億6578万円(市民1人当たり約5万円)  
▼住宅マスタープラン等計画見直し / 道路定期点検事業 / 道路新設改良事業 / 橋りょう長寿命化事業 / 都市

計画街路整備事業 / 災害公営住宅整備事業  
⑤豊かな心と個性を育む『ふれあい』のまちづくり 64億1214万円(市民1人当たり約8万円)  
▼コミュニティ・スクール推進事業 / タブレット型端末導入事業 / 教育施設備品整備事業 / 学校施設防災機能強化事業(非構造部材耐震化事業)

⑥市民の創造力を生かした『協働』のまちづくり 105億4496万円(市民1人当たり約13万円)  
▼未来のまちづくり支援事業 / 未来のまちづくり推進基金積立金 / コンビニエンスストア証明書発行システム導入事業 / 通信回線統合管理サービス導入事業 / ふるさと応援寄附金拡充事業

※ 詳細な資料をご覧になりたい場合は、市ホームページ(<http://www.city.tone.miyagi.jp/>)の「行政情報」→「市の財政」でお知らせしています。なお、ホームページを見ることができない人には、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。  
【問い合わせ】企画部財政課(財政一係)  
☎0220(22)2159

## 「10年後のまち」描く 絵画コンクール 15人表彰

「10年後の登米市のまち」絵画コンクールの表彰式は3月17日、中田農村環境改善センターで開催され、入賞した市内の小中学生15人が表彰されました。

同コンクールは、現在市が進めている第二次総合計画の策定に合わせ、未来を担う子どもたちに市の将来やまちづくりについて関心を持ってもらおうと実施したものです。小学校低学年、同高学年、中学校の3部門に、市内各校から1010点の応募がありました。

中学校の部で最優秀賞を受賞した石越中1年の千葉友希さんは「受賞は今でも信じられません」と感激した様子で話していました。



入賞した小中学生。表彰式には15人中13人が出席しました

## 林業の取り組み評価 活動発表で林野庁長官賞

森林所有者や林業従事者らで構成する本市の津山町林業研究会は3月3日、東京都渋谷区で開かれた「平成26年度全国林業グループコンクール」で、全国2位となる林野庁長官賞を受賞しました。

同コンクールは全国の林業グループの活動を発表するもので、全国六つのブロック代表が出場しました。東北・北海道ブロックの代表として出場した同研究会は、地元小学生への林業体験学習や高校生に対する林業インターンシップ研修の実施などを発表。将来の林業後継者の育成に積極的に取り組んでいる活動が高く評価されました。



3月16日に市役所を訪れ、布施市長（右）に林野庁長官賞を受賞を報告した津山町林業研究会の皆さん

## 要援護者の支援協定 介護保険事業者連絡協と

市では、市介護保険事業者連絡協議会（会長・遠藤尚市社会福祉協議会会長）と、災害時における要援護者の緊急受け入れなどに関する協定を締結しました。協定には、災害時、市の要請に基づき、要援護者に同協議会加入事業所が施設を提供したり、居宅訪問で健康相談したりすることなどが盛り込まれています。

3月23日に市役所で開かれた協定締結式には、布施市長と遠藤会長、同協議会の代表者ら約20人が出席。協定締結後、布施市長は「4年前の震災を教訓に、本協定締結でこれからも災害弱者と言われる皆さまを支援していきたい」と述べました。



市との協定を締結した介護保険事業者連絡協議会。同協議会には37の事業者（69事業所）が加入しています

## 古文書など17点寄贈 栗原市（築館）の加藤さん

栗原市築館で歯科医を開業している加藤秀一さんから、所蔵していた古文書など17点を本市歴史博物館に寄贈されました。

寄贈されたのは、仙台藩主伊達政宗に関する古文書や刀箱、本市迫町佐沼の旧亙理家ゆかりの懸盤など、どれも貴重なものばかりです。3月11日には歴史博物館で、布施孝尚市長から加藤さんに感謝状が手渡されました。「登米は歴史のあるまち。ぜひ寄贈品を活用していただきたい」と加藤さん。布施市長は「いただいた品々をしっかりと継承し、多くの皆さんに見ていただけるようにしたい」と述べました。



寄贈品の解説をする加藤さん（右）。来年2月の歴史博物館企画展で一般公開する予定です

## 原木シイタケ初出荷 消費者招き盛大に交流会

原発事故の影響で出荷が制限されていた市内産の露地栽培原木シイタケの出荷制限が一部解除され、3月23日に出荷式が開かれました。出荷式は、生産者や市、県の関係機関で構成する市露地栽培原木しいたけ生産推進協議会（芳賀裕会長）が開きました。

当日は関係者のほか、消費者など約120人が出席。式では、関係者によるテープカットで出荷を祝い、原木シイタケを積んだトラックを拍手で見送りました。会長の芳賀さんは「今日の日を迎え、いろいろな思いが込み上げてきて本当に感動でいっぱいです」と声を詰まらせて話していました。



芳賀さん宅で開かれた出荷式。生産者、関係機関、消費者みなで出荷を祝いました

## 木質バイオマス推進 プロジェクトチームが提言

市環境市民会議（佐藤幸一会長）の木質バイオマス利活用プロジェクトチーム（佐藤博リーダー）は3月13日、市役所を訪れ、布施市長に木質バイオマスの利活用推進に関する提案書を提出しました。

提案書は、同チームが平成25年2月から検討会議や先進地視察研修などを重ねまとめたもの。地球温暖化防止対策の推進には木質バイオマスの利活用が重要。そのために「未利用材等収集・販売システムの構築」や「木質燃料暖房機器等購入補助金制度の創設」が必要とする提案書を、佐藤リーダーが布施市長に手渡しました。



プロジェクトチームのメンバーらが木質バイオマスの利活用推進を布施市長に提言しました

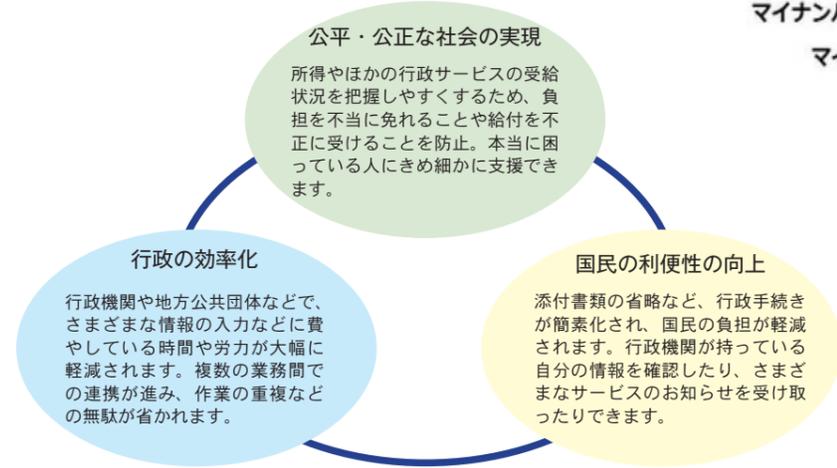
Information 01

# マイナンバー制度が始まります



マイナンバーキャラクター  
マイナちゃん

平成25年5月に「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用などに関する法律」が公布され、平成28年1月から社会保障・税番号制度（以下「マイナンバー制度」）が始まります。今号では、制度の概要と今後の予定を紹介します。



【マイナンバー制度の仕組み】  
この制度は、住民票を持つ人にマイナンバー（個人番号）を付番し、複数の行政機関の情報を結び付け、相互に活用する制度です。この制度の導入により次の三つの効果が期待されます。

【マイナンバーの利用範囲】  
マイナンバーは、年金、雇用保険、医療保険の手続き、



生活保護や各種福祉の給付金、確定申告などの行政手続きでの利用に限られます。

【個人番号カード】  
平成28年1月から交付を開始します。カードには氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー、本人写真などが記載され、身分証明書として利用できます。また、ICチップが埋め込まれており、その中に電子証明書データが入っています。このデータにより、e-Tax（イータックス）をはじめとした各種電子申請をすることが出来ます。

カードには所得や病気の履歴など、秘匿性の高い個人情報も記載されず、希望者だけに交付されます。

【法人にも番号が付番】  
マイナンバーの導入に併せ

### ■導入スケジュール

H 27.10	「通知カード」の発行 市から12桁のマイナンバーを通知するカードを送ります。※通知カードは公的な本人確認書類ではありません。
H 28.1	行政手続きでの利用開始 「個人番号カード」の交付開始 社会保障・税・災害対策分野の行政手続きでの利用を開始します。希望者には申請により、個人番号カード（顔写真付きのICカード）を交付します。個人番号カードは公的な本人確認書類として利用できます。

て、企業などの法人にも国税庁長官から法人番号が付番されます。法人番号は公開され、官民を問わずさまざまな用途で活用されます。

国では、マイナンバーに関する最新情報を提供しています。

◆マイナンバー・ポータルサイト（ホームページ）  
http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/hangoseido/

◆マイナンバーコールセンター（有料）  
☎0570(20)0178  
午前9時30分～午後5時30分（土・日曜日、祝日を除く）

【問い合わせ】企画部企画政策課（情報システム係）  
☎0220(22)2147

Information 02

## 新しい農業経営のカタチ目指し



昨年の開講式の様子



昨年の講習風景

「農業経営のレベルアップを図りたい」「6次産業化など新しい事業に取り組んでみたい」など、農業でよりいっそうの経営力向上を目指す人たちに向け「登米アグリビジネス起業家育成塾（塾長 東北大学大学院 伊藤房雄教授）」を開塾、平成27年度の受講生を募集します。本塾は本年度で終了します。

【学習内容・実施期間】①農業経営、企業経営の経営手法などを学びます（全4回）6月7月に実施②税務、会計業務、損益分岐点、法人化プロセス、労務管理、事業計画の作成手法について学びます（全8回）7～8月に実施

※①、②ともに水曜日の午後6時から9時までの定例で実施

【募集定員】15人程度  
【応募資格】農家、農業法人の経営者・社員、新規就農者で経営のレベルアップを図りたい、6次産業化など新規ビジネスに挑戦したい、会社設立を検討している、農業、食関連のビジネスとの連携に関心のある企業、団体などの人、学生

【受講料】4千円  
【申込期限】5月20日（水）  
【申し込み・問い合わせ】募集要項を電子メールなどでお送りしますので、電話またはメールで連絡ください。

▼産業経済部ブランド戦略室「登米アグリビジネス起業家育成塾事務局」  
☎0220(34)2549  
✉brand@city.tome.miyagi.jp

Information 03

## 豊かなみどりの森林を次世代へ

市と県では、植林体験の参加者を募集します。また、お子さまの誕生や結婚記念日などを標柱に記し、植樹する「わたしの記念植樹」を実施します。「わたしの記念植樹」の募集人員は先着50人となります。

【日時】5月24日（日）午前10時～午後1時（小雨決行）  
【集合場所・時間】津山町「道の駅津山」もくもくランド駐車場／午前9時30分  
【植林場所】津山町横山字大萱沢地内



昨年の植樹の様子

※集合場所から植林会場まではバスで送迎します。

【募集人員】150人（先着順）

【参加料】無料

【持参する物】軍手、長靴

【申込期限】5月15日（金）

【申し込み方法】電話、ファクシミリ、電子メール

①「市民参加の新たな森林づくり植林体験」  
※ファクシミリの場合は、参加者の住所・氏名・年齢・電話番号・記念名（例）初孫誕生記念など・標柱に入れる名前（例）登米市太郎を記入の上、「わたしの記念植樹」と明記してください。

②「わたしの記念植樹」  
※ファクシミリの場合は、参加者の住所・氏名・年齢・電話番号・記念名（例）初孫誕生記念など・標柱に入れる名前（例）登米市太郎を記入の上、「わたしの記念植樹」と明記してください。

【申し込み・問い合わせ】産業経済部農林政策課（林業振興係）  
☎0220(34)2716  
☎0220(34)2801  
✉nourinseisaku@city.tome.miyagi.jp

市長雑感

「この春、市制施行10周年を迎えました」

今年は本市にとって大きな節目を迎える年になります。それは、第二次登米市総合計画を策定するだけでなく、宮城県北高速幹線道路の中田工区が3月末に着工、引き続き進められる佐沼工区の工事。今春開校した登米総合産業高校など、未来の登米市づくりを進める年になるからです。

だからといって課題が全て解決するわけではありません。少子対策の子育て支援策としては子育て支援商品券事業、今春から始まった放課後児童保育の小3から小6までの拡大。10月から実施する中学3年までの医療費無料化、引き続き取り組む予防接種による疾病予防対策。今後の課題としては、認定子ども園の取り組みを進め、待機児童解消とニーズに合った子育て環境の整備を進めます。

今、地方創生が叫ばれていますが、取り組むためには市民の皆さんとともに課題を見据え、それぞれができることを少しずつでも行うことで、より成果を高めることができると思っています。

市制施行10周年の年。あらゆる機会を捉え市民皆さんと共にまちづくりを進めていきますので、どうかよろしく願います。



「結婚活動支援事業」の受託事業者を公募型プロポーザル方式により募集します。

【主な内容】①自分磨きセミナーの開催②未婚男女の交流イベントの開催③結婚相談および啓発活動の実施

【委託契約期間】契約締結日から平成28年3月31日まで

【応募資格】市内に本社または事業所を置き、委託業務を効果的に実施できる民間企業およびNPO法人など

【選定方法】提出された企画提案書により、審査委員会にて受託事業者を決定します。

【提案書の提出期限】5月12日(火)午後5時まで

【留意事項】プロポーザル経費などは、応募者の負担となります。

※業務に関する仕様書、応募要件、企画提案書などの詳しい内容については、市ホームページからダウンロードしていただくか、電話またはメールでお問い合わせください。

【問い合わせ】企画部市民活動支援課(地域振興係)

☎0220(22)2173

✉shiminkatsudo@city.tome.miyagi.jp

Information 06 市の婚活支援事業受託者を募集

本市の美しい農産物と豊かな産地の魅力をPRするため、農産物インターネット動画PR事業を実施しています。

今回、ユニークでよりPR効果がある動画作成のため、市民プロデューサーを募集します。皆さんのユニークで画期的なアイデアをお待ちしています。

【募集内容】①市民プロデューサーは、制作テーマごと、1企画に対し1名②希望者多数の場合は、企画内容により選考し決定します③無報酬となりますのでご了承ください

【対象者】市内に住所を有する小学生以上(18歳未満の場合は保護者の同意書が必要)

【申し込み方法および申込書類】①登米市農業動画市民プロデューサー申込書②動画企画書(A4用紙1枚程度に撮影したい動画のアイデアを記入したもの(任意様式))③申し込み方法市ホームページから申込書などをダウンロードし、農産園芸畜産課までご提出ください

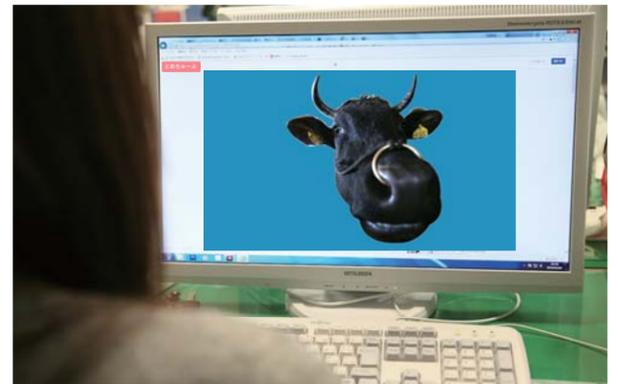
【申込期限】5月29日(金)

【申請・問い合わせ】産業経済部農産園芸畜産課(農産園芸振興係)

☎0220(34)2713

Information 04

あなたのアイデアお待ちします



■制作テーマ

制作テーマ	動画の内容	募集本数
農産物のPR動画	おいしい登米市の農産物の魅力を伝える動画	2本
産地の魅力PR	豊かな登米市の産地の魅力を伝える動画	2本
おもしろPR動画	おもしろいアイデアにより登米市の知名度を高める動画	3本

※動画は、市で委託する専門の業者が撮影・編集をします。一定の予算および条件の中で動画の制作指揮にあたっていただきます。詳細については企画採用後にお知らせします。

Information 08 市制施行10周年記念 宝くじ文化公演

登米市市制施行10周年記念事業 宝くじ文化公演「三遊亭円楽 林家たい平二人会」を開催します。

【日時】8月7日(金) 開場 午後6時、開演 午後6時30分

【会場】登米祝祭劇場(大ホール)

【入場料】全席指定2千円(当日2500円)※宝くじの助成により、特別料金となっております。

※未就学児の入場はできません。

【前売り券】5月30日(土)午前10時から登米祝祭劇場と市内プレイガイドで販売します(前売りで完売の場合、当日券の販売はありません)。



皆さんの地域の集会施設の建設や改修費用の一部を補助します。

【対象事業】①集会施設の建設および購入(本体工事費)②施設の修繕および模様替え(バリアフリー化を含む)、増築

【補助率および限度額】補助率2分の1以内①新築、購入 1千万円②修繕、模様替えなど 250万円

【対象とならない経費】①門、柵、塀、植樹などの附帯工事費および購入費

②用地の取得費③既存の建物の解体費用④備品費など

【申請・要望受付期限】①平成27年度事業(改修事業のみ)の補助金交付申請 10月30日(金)②平成28年度事業の補助金要望 10月30日(金)

※事前にスケジュール、対象経費などについてご相談ください。

【申し込み・問い合わせ】企画部市民活動支援課(地域振興係)

☎0220(22)2173

Information 07 集会施設の建設や改修を助成

Information 05 高校生絵画展IN登米市2015



▲昨年の大賞作品

【出品規定】①1年以内に制作(模写などを除く)した油彩画、水彩画、日本画、版画などで、壁面に展示可能なもの②キャンバスサイズは20×30号、パネルサイズはB2/A1判

③作品は額装することを基本とし、奥行きは6センチ以内(額縁含む)

【出品点数】1人1点(作品の共同制作は不可)

【応募期限】5月6日(水)まで

【応募方法】出品申込書に必要事項をご記入の上、原則として学校ごとにまとめ、教育委員会教育部文化財文化振興室に郵送またはファクシミリでお申し込みください。

【展示場所】登米祝祭劇場(小ホール)

【展示期間】5月21日(木)～24日(日) 午前9時30分～午後6時(24日は午後3時まで)

【入場料】無料

【表彰】▼大賞1点▼優秀賞2点▼優良賞4点▼佳作5点程度

【表彰式】5月24日(日)午後3時30分／登米祝祭劇場(小ホール)

【申し込み・問い合わせ】教育委員会教育部文化財文化振興室

〒987-10602 登米市中田町上沼西桜場18番地

☎0220(34)2332

☎0220(34)2504

登米市市制施行10周年記念事業として「高校生絵画展IN登米市2015」を開催します。

【対象者】県内の高校に在学、または市内在住の高校生

【作品規定】①1年以内に制作(模写などを除く)した油彩画、水彩画、日本画、版画などで、壁面に展示可能なもの②キャンバスサイズは20×30号、パネルサイズはB2/A1判

③作品は額装することを基本とし、奥行きは6センチ以内(額縁含む)

【出品点数】1人1点(作品の共同制作は不可)

【応募期限】5月6日(水)まで





豊里

## 感謝の言葉と手紙を贈る 3月23日

豊里小・中学校では、読み聞かせの活動をしている学校支援ボランティアに感謝の意を表し、感謝の会を開催しました。  
読み聞かせは、学校と地域をつなぐ「学校・地域教育力向上対策事業」の一環として実施。平成26年度は4人のメンバーで週3回程度、1～3年生を対象に活動しました。感謝の会では、代表の1年生4人から感謝の言葉と手紙が贈られました。

## スポーツ通じ、親睦図る 2月19日

中津山コミュニティ運営協議会では、中津山地区コミュニティニュースポーツ大会を中津山公民館で開催。地域住民約50人が参加しました。  
大会は、近年多くの人に親しまれているニュースポーツを通じて、コミュニティづくりの推進を図ろうと実施。当日は、チームに分かれ、ユニカール、ターゲットバードゴルフなどで競い合いました。参加者たちは、スポーツを楽しみながら、親睦を深めていました。



米山



迫

## お昼時間にリフレッシュ 3月26日

H@! FM (ハット・エフエム) の子育て応援番組「ギューっとハグしよ!」による昼休みホールコンサートが市役所迫庁舎で開催されました。  
コンサートでは、「おどるボンボコリン」や「ジブリメドレー」などを歌唱。最後は、清水バンドの清水明さんが歌う「油麩どんぶり 麩!」に合わせて、さくら幼稚園の園児たちが元気いっぱい踊り、観客から大きな拍手が送られました。



石越

## みんなで堤防をきれいに 3月8日

石越町河川愛護会では、春の訪れを告げる恒例の「夏川・迫川の堤防一斉清掃」を実施。住民約1600人が参加しました。  
堤防清掃は、毎年全戸参加による奉仕作業です。当日は、午前9時に作業を開始し、約3時間ほどで堤防がすっかりきれいになりました。参加者は「作業は大変ですが、町内全戸で清掃活動に取り組むことは、とても有意義なことです」と、話していました。

## 会員らが技術向上を図る 3月3日

とよま登米町農産加工クラブ連絡協議会では、「作品展示会」をとよま農産加工調理場で開催。会員60人が参加しました。  
展示会は、会員が互いの作品に触れ、学ぶことで、地元産のものを利用した新商品を開発することが目的です。当日は手芸品・菓子・漬物などを展示。参加者は、工夫が凝らされた作品を見ては、作り方を学んでいました。



登米

## 指導技術の向上目指して 2月21日

登米市体育協会南方支部では、スポーツ指導者養成講習会を南方公民館ホールで開催しました。  
講習会の講師は、仙台大学の永田秀隆教授。「高齢者も巻き込んだスポーツを通じた地域づくり」をテーマに講演をしました。永田教授は「これからの時代は市民が主体となり、スポーツを通じてさまざまな年齢層と関わりを持ち、地域再生に貢献していかなければならない」と話しました。



南方



東和

## 早期発見、被害を小さく 4月9日

3月20日から5月10日まで、東和町にある蚕飼山の山頂や林道を中心に、山火事監視パトロールが行われています。  
春先は、空気が乾燥して火災の発生する恐れが高まります。入山者が多くなる季節でもあり、被害が発生しないよう監視を強化。パトロールをしている皆さんは「春先は風も強く、一気に燃え広がることもあるため、早期に発見できるよう努めたい」と、話していました。



津山

## 有事に備え、対処法学ぶ 3月4日

津山公民館では、いきいきシニアセミナーを同館で開催しました。  
今回は、市消防署津山出張所員を講師に迎え「住民が安心のできる暮らし」をテーマとした講座を実施。119番通報の仕組みや救急車が到着するまでの対処方法などを学びました。受講生から質問が多く挙げられ、「もしものときに備えて知っておきたいという関心の高さがうかがえる講座となりました。

## 景色を眺め、楽しく運動 3月18日

なかだスポーツクラブパティオでは、ノルディックウォーキング教室を市諏訪公園で開催しました。  
ノルディックウォーキングは、ポールを使うことで全身の筋肉が刺激され、普通のウォーキングよりカロリー消費が約20%も増加すると言われています。肩こりの緩和やシェイプアップなどが期待でき、近年愛好者が増加。参加者は、風景を楽しみながら約3kmの道のりをウォーキングしました。



中田

# Health

## ぼくわたしむし歯ないんだよ

Monthly Hot Communication

1月28日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



むし歯がなかった子は、市内7地区で80人中58人でした

# Books

## 5月のおすすめ図書を紹介

今月は登米図書館です

Monthly Hot Communication

一般向け

子ども向け

### PICKUP-04 絶唱



湊 かなえ/著  
死の悲しみから自分を取り戻す希望とは？ 南の島を舞台にした4人の日本人女性の物語です。

### PICKUP-05 ほんとうの賛決



吉沢 久子/著  
著者は97歳。豊富な人生経験に裏打ちされた言葉が心にしみみます。

### PICKUP-06 まいにちの中高生のお弁当250



食のスタジオ/著  
新学期が始まりました。手早く作れておいしいお弁当を紹介します。男女別のレシピもあります。

### PICKUP-01 新迷解 もっと！ ポケモンおもしろことわざ



げえせん うえの/著  
ことわざの中にポケモンがかかれています。かわいいポケモンの絵もいっぱいです。

### PICKUP-02 侍メジャーリーガー列伝 田中将大



本郷 陽二/著  
アメリカのメジャーリーグで活躍する田中将大投手。その魅力に迫ります。

### PICKUP-03 タンポポのずかん



小川 潔/監修  
春になり、道端にタンポポを見かけます。花を詳しく観察してみませんか。

### Library Topics

## みんなの図書館

～利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします～

松本 育さん(7歳・小学2年生/登米町・後小路)  
迷路やディズニーキャラクター、ポケットモンスターなどの本が好きな育さん。特にポケットモンスターは好きで詳しくなりました。迷路の本で難しいところはお母さんやお祖母さんに相談しながら読んでいます。図書館を利用するのは今日で3回目。「2年生のうちにスタンプ100個が目標です」と話す育さんは、今日も5冊本を借りて帰りました。



### INFORMATION

100冊目指して読書しませんか？  
迫図書館、登米図書館では子どもの読書活動推進の一環として「よんだらスタンプカード」を交付しています。スタンプカードは1冊借りるごとに1つ押印。100冊達成したときには記念品を差し上げています(※対象は小学生)



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月、祝、年末年始など(中田図書室は祝も開館) ※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
- 問い合わせ 迫図書館 ☎22-9820 登米図書館 ☎52-5330 中田図書室 ☎34-8081

This Month Pick Up Hot Communication

Books

Health

Young

Dream

Child

Half Century

One's Home



## Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

### 松本遥希くん

まつもと・はるき 佐沼小5年  
迫町・江合

僕の将来の夢は、接骨院の先生になることです。お父さんは接骨院の先生をしています。お父さんの働く姿を見て、僕もなりたいたいと思いました。

なりたいたい理由は二つあります。一つ目は、お父さんがマッサージをしながら、お客さんと話をしていること。手を止めず、器用にマッサージをしているので、すごいと思いました。二つ目は、機械を使ってマッサージをしていること。水でマッサージをする機械で、パソコンで調べたら、スポーツ選手などにも使われていて、すごい機械だなと思いました。

僕は、お父さんみたいな接骨院の先生になりたいです。

## Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



ゆうか  
佐藤 優花ちゃん(3歳)  
平成24年2月25日生まれ  
中田町・石森長根  
雅俊さんの長女

かわいい笑顔と笑い声で家族を明るく癒やしてくれる優花。これからもいっぱい遊んでたくさんお友達をつくってね。

大きなけがも病気もなく、明るく活発な子に育っています。幼稚園生活をお友達と仲良く過ごしてほしいです。



たくま  
遠藤 匠真くん(2歳)  
平成24年5月18日生まれ  
中田町・南加賀野  
孝之さんの長男

## Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

### 伊藤義幸さん(26)

いとう・よしゆき  
迫町・駒林

★身長と血液型 183センチでAB型です。

★現在は 迫地方農業共済組合で働いています。入組7年目で、現在は畜産課に所属。牛の治療カルテや死亡事故の情報管理などを担当しています。今年、同じ課に年下の後輩が入社。今まで自分が一番年下だったので、戸惑いもありますが、コミュニケーションを大切に、頼りがいのある先輩になれるよう頑張ります。

★自分の性格 慎重です。

★休日は ドライブや牛の世話をしています。家では牛を15頭飼育。牛が好きなので、世話をするのが楽しいです。将来は、自分で牛を購入し、飼育したいですね。

★趣味は 読書。畜産専門誌やマネジメントの本が好きです。

★理想の女性像 互いに尊重し合えて、愛嬌がある人。28歳までには結婚したいですね。いつまでも独身じゃ駄目だと、自分自身にプレッシャーを掛けてます。

★今やってみたいこと 弟と妹の3人で旅行をしたいです。父や祖父がきょうだい仲良く旅行しているのを見て、自分も仲良く行ってみたいなと思いました。

★登米市について一言 友達がほとんど市外に転出しているの、若者が住みやすいまちをつくってほしいですね。



～「わが家のアイドル」では、3歳までの子どもたちを募集しています～<応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)⑧写真データを添付し応募してください<応募先>総務部 市長公室広報広聴係 〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp

適度なけんかが円満のコツ



鈴木三男さん(83歳) 鈴木澄子さん(83歳) 迫町・赤沼 昭和27年11月入籍

病気で入院した時はうんと心配したね。

★現在の楽しみは

【三男】晩酌だね。焼酎一合は必ずやるおん。飲む量は減ったけど、止められないね。

【澄子】野菜作りと孫・ひ孫と遊ぶのがな。

★夫婦円満のコツは

【二人】適度にけんかすることだね(笑)。

★やりたいこと

【二人】まだまだ家業の畜産を手伝いたいんで、おじいさんは運転免許の更新しねえね。おばあさんは足腰よえぐなつたけど、無理しねでべっこずつおどつてするべ。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

離れていても心のよりどころはふるさと

季節の移り変わりは早いものです。つい先日まで、厳しい寒さが続いていたかと思うと、この「広報とめ」が手元に届く頃には、桜の花が満開を迎えていることでしょう。私たちは登米市から遠く離れていますが、やはり心のよりどころはふるさとです。

平成の大合併で登米市が誕生して10年。合併以前から市を構成する旧町ごとに、首都圏で町人会が結成され、活発に活動してきました。在京町人会は、もともと昭和25年代の集団就職世代が中心となり結成された会です。

遠藤 誠幸さん(76歳)

登米市在京町人会連絡協議会長 関東地区宮城県南方町人会長 南方町出身



戦後の復興期から日本経済は高度成長期に入りました。当時、貴重な労働力である中学校卒業生は「金の卵」と呼ばれ、関東方面に集団で就職。初めて経験する親元を離れての生活に、不安と寂しさを抱きながら上京しました。その若者たちが励まし支え合うような、そこへ行けば田舎の人に会える、お互いに大きな声で方言そのまま語り合える癒やしの場所。都会の砂漠の中に「田舎」というオアシスを求める気持ちの結集が、ふるさと会創立の原点でした。また、これらの町人会を組織化し、連携の強化を図り、登米市発展のために一致結束して活動しようという趣旨で、7年前に登米市在京町人会連絡協議会が発足しました。その後、東日本大震災が発生し、各町人会は被災地に義援金や食料、日常生活用品の支援を行いました。これからも、ふるさとで培った「苦しい時にこそ人に対する思いやり」「人と人とを結ぶ絆」を大切にして、小さくとも温かい心の灯りをともし続けて行こうと思っています。町人会が、今後も登米市発展のために少しでもお役に立てればと思っています。

おらほの道の駅

道の駅米山 「ふる里センターY・Y」



米山町の魅力の一つ チューリップまつり



道の駅米山 山崎準一郎さん 駅長

今月は、米山総合支所の隣にある、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の山崎駅長にお話を伺いました。道の駅米山の特徴やお勧めのイベントを教えてください。米山町は、第三代横綱丸山権太左衛門出身の地。駅の敷

旬の果物イチゴ

Q今の季節、お薦めの農産物を教えてください

この季節、旬を迎えるのはイチゴで、駅に置いてある商品は全て地元農家が栽培したもので、100%米山産です。主力品種は、宮城県オリジナル品種の「もういつこ」や「とちおとめ」。1日200ケース売れることもある人気商品なんです。

新鮮なものをより多く取りそろえているので、皆さんぜひ足を運んでください。

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集!

●6月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し5月7日まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。●応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句 つくしんぼ土手から匂い放してる 土竜塚の土新しき雨水かな 地虫出づ鴉の漁る空畑 桜草友と語らう窓辺かな 催花雨や解れて一輪玉つばき 花言葉初恋といふさくら草 独り居の二階を灯す紫木蓮

菅原たろ子(迫) 及川(裕子)(東和) 千葉(勝保)(東和) 浅野喜代子(中田) 黒田(律子)(中田) 佐藤(昭)(中田) 二木ゆきこ(中田)

川柳 桜咲く希望一杯の門出かな おぼろ夜や一窓灯る桃山城 臍月酸素の管を引きずりて 白鳥や鈍色の空幾千里

石崎よしの(米山) 浅野のり子(津山) 西條(邦泰)(津山) 高橋ちよの(津山) 山内たろ子(迫) 熊谷(洋子)(中田) 高橋とく子(豊里)

応募総数 29 作品

# 健康

## 平成 27 年度健診が始まります

総合健診日程 (受付時間：6:30～9:30)

地区	実施日	会場	地区	実施日	会場
石越	5/13(水)～5/15(金) 5/17(日)～5/20(水)	石越総合支所	南方	7/1(水)～7/4(土) 7/6(月)～7/9(木)	南方農村環境改善センター (胃がん検診は南方保健センター)
中田	5/19(火)～5/26(火)	石森ふれあいセンター	登米	7/14(火)～7/18(土)	登米総合体育館
	5/27(水)～5/29(金)	浅水ふれあいセンター	津山	7/21(火)～7/22(水) 7/23(木)～7/25(土)	津山公民館 柳津小学校 (体育館)
	6/1(月)～6/5(金)	上沼ふれあいセンター	豊里	8/18(火)～8/23(日)	豊里公民館
	6/7(日)～6/10(水)	中田B&G海洋センター 宝江ふれあいセンター			
東和	5/26(火)～5/29(金) 5/30(土)	米川公民館		9/2(水)～9/7(月) 9/8(火)～9/10(木)	新田公民館 ※土日は除く 北方公民館
	6/1(月)～6/3(水)	米谷公民館	迫	9/11(金)～9/18(金) 9/24(水)～9/25(木)	迫保健センター ※土日は除く 迫保健センター
	6/4(木)～6/5(金)	東和勤労青少年ホーム		9/27(日)～9/30(水)	迫保健センター
	6/8(月)～6/9(火)	善王寺コミュニティセンター			
米山	6/10(水)～6/12(金)	中津山公民館			
	6/15(月)～6/19(金)	米山体育館			

乳がん検診日程 (受付時間：9:00～10:30、12:30～13:30)

地区	実施日	会場	地区	実施日	会場
東和	6/16(火)～6/19(金)	東和地域福祉センター	迫	10/16(金)～10/17(土) 10/19(月)～10/22(木)	迫保健センター
津山	6/22(月)～6/24(水)	津山ふれあいセンター	石越	10/27(火)～10/30(金)	石越総合支所
南方	7/22(水)～7/24(金)	南方保健センター	米山	11/4(水)～11/6(金) 11/9(月)～11/11(水)	米山総合保健福祉センター
	7/27(月)～7/29(水)	南方保健センター			
登米	9/1(火)～9/4(金)	登米総合体育館	中田	11/30(月)～12/5(土) 12/7(月)～12/10(木)	中田保健福祉会館
豊里	10/5(月)～10/9(金)	豊里公民館			

子宮頸がん検診日程 (集団検診の受付時間：8:30～10:00、12:30～13:00)

地区	集団検診(車)	会場	個別検診(病院)	医療機関
津山	5/7(水)～5/8(金)	津山ふれあいセンター	5/14(水)～5/23(土)	①登米市民病院 木曜午後のみ(予約制) ☎ 0220(22)5511 ②結城産婦人科医院 ▶月火木金 午後2時～5時30分 ▶土曜(予約制) 午前9時～11時30分 (水曜日は休診日) ☎ 0220(22)3252
南方	5/12(火)～5/15(金)	南方保健センター	6/1(月)～6/15(月)	
石越	7/7(火)～7/9(木)	石越総合支所	8/1(土)～8/11(火)	
登米	7/27(月)～7/29(水)	登米総合体育館	8/22(土)～8/31(月)	
米山	8/18(火)～8/21(金)	米山総合保健福祉センター	9/3(水)～9/17(水)	
	9/24(水)～9/25(金) 9/28(月)～9/29(火) 9/30(水)	上沼ふれあいセンター 石森ふれあいセンター 浅水ふれあいセンター	11/2(月)～11/24(火)	
中田	10/1(水)～10/2(金)	宝江ふれあいセンター		
	11/4(水)～11/6(金)	迫保健センター	9/18(金)～10/31(土)	
豊里	11/9(月)～11/11(水)	豊里公民館	11/26(水)～12/5(土)	
東和	11/17(火)～11/19(木)	東和地域福祉センター	12/7(月)～12/19(土)	

## 5月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医	日	休日急患当番医	歯科休日当番医
3日(日)	市立よねやま診療所(米山町) ☎ 0220(55)2011	高橋歯科クリニック(迫町) ☎ 0220(22)7411	10日(日)	大坂医院(中田町) ☎ 0220(34)6625	まつお歯科医院(迫町) ☎ 0220(28)2311
4日(月)	おおともクリニック(津山町) ☎ 0225(68)3210	高橋歯科医院(登米町) ☎ 0220(52)3210	17日(日)	新田診療所(迫町) ☎ 0220(28)3398	かがの歯科医院(中田町) ☎ 0220(35)2552
5日(火)	サンクリニック(南方町) ☎ 0220(29)6060	プレミア歯科(南方町) ☎ 0220(23)2038	24日(日)	米川診療所(東和町) ☎ 0220(45)2301	東和歯科医院(東和町) ☎ 0220(53)3811
6日(水)	上杉皮膚科医院(迫町) ☎ 0220(21)1380	グリーンヒルズデンタルクリニック(中田町) ☎ 0220(44)4611	31日(日)	二瓶内科胃腸科医院(迫町) ☎ 0220(22)6508	浅野歯科医院(南方町) ☎ 0220(29)6036

【共通事項】  
●診療時間 9:00～17:00  
【休日急患当番医】  
●休日・夜間診療案内 ☎ 0229(24)2267 (24時間)  
●第2次診療 登米市民病院 ☎ 0220(22)5511

【問い合わせ】登米市医師会  
☎ 0220(22)2084 ※月～金曜日(休日を除く)  
【歯科休日当番医】  
●診療時間：9:00～17:00  
(プレミア歯科は10:00～18:00)

【問い合わせ】市民生活部健康推進課  
☎ 0220(58)2116  
※当番医は、各医療機関に確認の上、受診してください。

## 5月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
11日(水)	中田老人福祉センター 13:30～15:30 ☎ 0220(34)2311 精神科医師
12日(木)	米山総合支所 10:00～14:30 ☎ 0220(55)2112 カウンセラー
13日(金)	豊里公民館 13:30～15:30 ☎ 0225(76)4113 カウンセラー
14日(土)	迫保健センター 14:00～16:00 ☎ 0220(22)5554 臨床心理士
19日(木)	南方保健センター 13:30～15:30 ☎ 0220(58)2113 精神科医師
26日(木)	登米総合支所 9:30～12:30 ☎ 0220(52)5054 臨床心理士

精神科医師などが相談に応じます(要予約)。不明な点は、各総合支所市民課に、南方地区の皆さんは、健康推進課にお問い合わせください。



北折一氏 櫻木裕実氏

今回は、ボディメイクトレーナー榎木裕実さんによるトーク&カーヴィーレッスン、NHK「ためしてガッテン」元専任ディレクター北折一さんの講演のほか、展示・体験コーナーもあります。皆さんお誘い合わせの上ご来場ください。

【開催日】5月23日(土)  
【開場】午前9時30分  
【場所】中田総合体育館(なかだアリーナ)  
【講演】①「榎木裕実のトーク&カーヴィーレッスン」午前10時～11時30分  
／講師 榎木裕実氏 ②「ためしてガッテン流！健康づくりの裏ワザ教えます！」午後1時30分～3時／講師 北折一氏  
【展示・体験】午前10時～午後4時／血管年齢測定、脳年齢測定、骨密度測定など  
【ヘルシーとめ講座】  
【受講生を募集】  
食を切り口にして、健康について学び、人のつながりを大切にしながら健康づくりの輪を広げませんか。  
【実施期間】6～9月(全5回)  
【初回】6月10日(水) 午前9時30分～11時30分  
【場所】市役所南方庁舎、南方保健センターなど

【募集人員】2人  
【応募資格】①本年5月1日現在、満20歳以上で市内に住所を有し、現に居住している任期中に転出する予定がない人 ②市食育推進計画に関する施策の実施、推進に関心のある人 ③本市の職員および議会議員でない人  
【任期】本年8月1日から平成29年7月31日(2年間)  
【役割】市食育推進計画に関する重要事項の審議、施策の実施推進  
【応募方法】郵送またはファクシミリ  
【提出書類】①作文「登米市の豊かな人材・食材を活かした食育活動」に関して400～800字程度 ②次の事項を記載した申込書(※任意様式も可) 住所、氏名、電話番号、性別、生年月日、職業、勤務先、応募理由  
※応募申込書は各総合支所と市民生活部健康推進課(南方庁舎2階)に設置しています。  
【募集期限】5月8日(金)必着  
5月の  
【日時】5月11日(月)午前9時～11時30分  
【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)  
※相談は無料ですが、予約が必要です。妊娠中の人は母子健康手帳を持参してください。

## 5月の献血日程

① 2日(土)  
▶イオンタウン佐沼  
10:00～11:45  
13:00～16:30  
※骨髄バンクの登録を受け付けています  
② 17日(日)  
▶みやぎ生活協同組合加賀野店  
10:00～11:45  
13:00～16:30  
③ 30日(土)  
▶イオンタウン佐沼  
10:00～11:45  
13:00～16:30  
※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。お問い合わせは、市民生活部健康推進課 ☎ 0220(58)2116

**登米いのち**  
**ホットテレホン**  
☎ 0120(870)108  
(登米市民専用)  
登米いのちホットテレホンは…  
○24時間いつでもかけられます。  
○名前を名乗る必要はありません。  
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。  
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

**子ども夜間安心コール**  
●電話番号 #8000  
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)  
☎ 022(212)9390  
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)  
●相談時間 毎日午後7時～翌朝午前8時  
**休日・夜間診療案内**  
休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)。  
☎ 0229(24)2267

お知らせ

市民病院小児科  
日曜日の救急診療を開始

市民病院の救急外来では、4月5日(日)から東北大学の医師の応援により日曜日のみ小児科の救急診療を開始しました。救急診療のため投薬は原則1日分の処方となり、継続治療が必要な場合は、平日に受診していただきます。また、入院が必要な場合は、ほかの医療機関へ紹介することになります。

▼受付時間▶午前9時～午後4時30分(時間厳守) ▼診察時間▶午前9時～午後5時  
【問い合わせ】市民病院医事課(日曜日は救急外来)  
☎ 0220(22)5511

今年度は固定資産の  
評価替えの基準年度です

土地と家屋の固定資産税評価額は、適正な時価を求めるため、3年ごとに見直す制度となっております。これを「評価替え」といい、平成27年度はその基準年度で、賦課期日(平成27年1月1日)現在で、土地および家屋について評価額が見直されます。

市内の土地については、地価の変動のない地域が多く見られます。しかし、一部地域(住宅地など)で東日本大震災の影響による土地取り引きの増加により、地価が上昇しているため、評価額が上がる場合もあります。

平成28年度および平成29年度は、原則として新たな評価額をせず据え置きとなります。  
【問い合わせ】総務部税務課(固定資産税係)  
☎ 0220(22)2163

「不正大麻・けし」  
発見したら連絡を!

大麻や一部のけしは、法律で栽培が禁止されています。けしは、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として

て人気があります。しかし、植えてはいけなけしには、園芸用のものと外観が似ている品種もあるため注意が必要です。



栽培または自生している大麻・けしを発見したときは、保健所や警察署までご連絡ください。

【問い合わせ】県登米保健所(食品薬事班)  
☎ 0220(22)6120

相談

年金相談所を  
開設します

年金の請求手続き、支払い内容、加入状況など、年金についての相談に応じます。相談は完全電話予約制です。相談日の前日までにご予約願います。

※予約の際に、「相談者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」「相談内容」などを確認させていただきます。  
【日時】5月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時

多重債務者  
無料法律相談

市では、弁護士、司法書士と協力し、債務の返済などについて無料相談に応じます。秘密は厳守されますので、気軽にご相談ください。

【日時】5月8日(金)、5月22日(金)午後1時15分～4時15分  
【場所】迫にぎわいセンター  
【担当】8日▶佐竹孝行(司法書士)、22日▶菅野高雄(弁護士)  
【相談専用電話】  
☎ 0220(34)2308  
【相談料】無料(要電話予約)

今月の夜間相談窓口

【日時】5月28日(木)午後8時まで  
【場所】市役所迫庁舎(1階)収納対策課  
【問い合わせ】総務部収納対策課(徴収対策係)  
☎ 0220(22)2169

【問い合わせ】産業経済部商工観光課(商工業振興係)  
☎ 0220(34)2734

気軽に「相談」ください  
認知症専門相談

高齢者で「最近物忘れが多くなった」などの気になる症状がありましたらご相談ください。精神科医が相談に応じます(相談は予約制です)。事前に連絡してください。  
【相談日時】5月22日(金)午後1時30分  
【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)  
【相談先】地域包括支援センターまたはケアマネジャー  
【問い合わせ】福祉事務所長 寿介 課(介護給付係)  
☎ 0220(58)5551

障がい者  
ついで相談

【相談日時】5月26日(火)  
①午前9時30分～②午前11時  
③午後1時30分～④午後3時

【場所】県東部保健福祉事務所 登米地域事務所(登米保健所)

【相談担当】障害者就業・生活支援センター「ゆい」  
▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」  
☎ 0220(21)1011  
▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)  
☎ 0220(58)5552  
※職業のあっせんではありませんのでご注意ください。

募集

広報とめとホームページ  
の有料広告を募集

市では、市広報紙「広報とめ」と市ホームページの一部を、広告枠として民間企業などの広告を有料で掲載しています。

掲載を希望する場合(金額や掲載までの日程などを含む)は、市が契約している広告掲載代理店へ直接申し込み、またはお問い合わせください。

【広告掲載代理店】川内印刷株式会社(登米市迫町森字平柳258)  
☎ 0220(22)3388

普通救命講習会  
受講者を募集

【日時】5月17日(日)午前9時～正午

【場所】消防防災センター  
【定員】30人(先着順) ※最少開催人員3人  
【申込期限】5月10日(日)  
【申し込み方法】消防署・各出張所に備え付けてある受講申込書に必要事項を記入の上、直接提出または電話でお申し込みください。  
【問い合わせ】消防署救急係  
☎ 0220(22)2119

市営住宅・定住促進住宅居者を募集

募集する住宅	
①市営住宅	<b>中田加賀野住宅 13号 (中田町石森字加賀野一丁目 12-3)</b> ▶募集戸数=2戸(4DK) / 家賃月額2万3,900円～3万5,600円 / 駐車場契約あり
	<b>豊里上屋浦住宅 8-1号、8-4号 (豊里町上屋浦 213)</b> ▶募集戸数=2戸(3DK) / 家賃月額1万1,900円～2万1,500円 / 駐車場契約なし
	<b>南方茶臼森住宅 1号 (南方町茶臼森 3-1)</b> ▶募集戸数=1戸(3K) / 家賃月額=1万700円～1万5,900円 / 駐車場契約なし
②定住促進住宅	<b>南方高石住宅 27号【新築】 (南方町山成前 852-1)</b> ▶募集戸数=1戸(2DK) / 家賃月額=2万3,100円～3万4,600円 / 駐車場契約なし
	<b>石越定住促進住宅 1号棟 404号 (4階)</b> ▶募集戸数=1戸(3DK) / 家賃月額=2万7,500円 / 駐車場利用は2千円(1台)
	<b>石越定住促進住宅 2号棟 502号 (5階)</b> ▶募集戸数=1戸(3DK) / 家賃月額=2万5,900円 / 駐車場利用は2千円(1台)

【入居資格】住宅に困っている世帯。※市営住宅は低所得世帯であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの入居要件があります。詳しい内容は住宅都市整備課または各総合支所へお問い合わせください。

【申込期限】5月13日(水) ※期限厳守  
【その他】東和定住促進住宅は随時募集です。入居希望の際は住宅都市整備課までお問い合わせください。

【申し込み先】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階)

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅管理係) ☎ 0220(34)2316

※郵送による申し込みは受け付けできません。

★ 飲んだ帰りは「ヤマト」へお任せ下さい!!

安全運転でお届けします

**YAMATO**

宮城県公安委員会 認定第236号

**ヤマト運転代行**

☎ 0220-22-5559 携帯 090-4313-4915

デイサービス 南方町大門にオープン!!

**大門いこいの広場**

「大門いこいの広場」は、ゆったり、のんびりできる自由な雰囲気。まるで自分の家で過ごしているような「アットホーム」なデイサービスです。

お泊まりもできます!

見学も随時受付中!!  
お気軽にお電話ください TEL.(0220)23-9541 登米市南方町原5番地

中田町上野 大柳デイサービス TEL.(0220)34-8778  
迫町佐沼 大錦デイサービス TEL.(0220)23-9339

確かな技術で まかせて安心

電気工事・オール電化工事・電気通信工事  
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

**有限会社 五島電機**

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1  
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて

**KUMANEN**  
熊谷燃料住設株式会社

快速生活 創造企業

災害時安定供給施設

■ アクアショップ KUMANEN ■ BFCクマネン  
■ コインランドリー 清潔空間 ■ なごみの家 きらり

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北敷田120番1  
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732  
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

# 登米祝祭劇場 5月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
5月1日(金)～29日(金)	◎佐藤啓子 切り絵ワークショップ作品展 Part 1 【時間】午前10時～午後5時 (29日は正午) 【会場】2階レストラン「蓮房」 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
5月16日(土)	◎佐沼高校吹奏楽部 第50回定期演奏会 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	佐沼高校 ☎ 0220(22)2022
5月23日(土)	◎登米高校吹奏楽部 第18回定期演奏会 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	登米高校 ☎ 0220(52)2670

※5月の休館日=6日、11日、18日、25日  
※イベントは主催者の都合により変更や中止になる場合があります。

## 寄付・寄贈品のご紹介

平成27年1月から3月までに頂いた市への寄付・寄贈品をご紹介します。皆さんの善意に感謝します。

申込者住所・氏名	寄付・寄贈品	寄付・寄贈目的
東京都 村井満様 (公財)日本サッカー協会 会長 大仁邦彌様	ポップアップゴール 20対	幼稚園の復興支援のため
岩手県 高橋照雄様	現金 10万円	市長が必要と認める事業のため
石巻市 榎ヒラツカ 代表取締役 千葉雄之様	交通標識ファイル 1,400枚	小中学校新入生の交通安全推進のため
仙台市 中村なほみ様	短刀2振、その他物品 2箱、保存箱8箱	家屋の解体に伴う寄付
神奈川県 榎かまくら春秋社 代表取締役 伊藤玄二郎様	絵本「オーロラのもえた夜」	小学校への被災地支援として

※広報への掲載を希望されない寄付・寄贈者については、掲載していません。  
【問い合わせ】総務部総務課(財産係) ☎ 0220(22)2091

社) 登米法人会青年部会  
☎ 0220(22)6617

**催し**

【開催期間】4月18日(土)～  
6月28日(日) 午前9時～午後  
4時30分  
【内容】刀と戦国変わり兜・  
胴の展示  
【刀剣相談会】5月17日(日)、  
6月14日(日) 午後1時30分～



【入館料】大人200円、高  
校生150円、小中学生  
100円  
【問い合わせ】  
▼登米懐古館  
☎ 0220(52)3578  
▼(株)とよま振興公社  
☎ 0220(52)5566

仙台市内の飲食店で  
登米フェアを開催

仙台市内で飲食店を運営する(有)カフェリエイトの3店舗で、旬の野菜などの登米産食材を使用した限定メニューを提供する「登米フェア」が市との連携で開催されます。ぜひお越しください。

米産食材を使った魅力あふれる料理をご堪能ください。

【期間】4月27日(月)～5月



31日(日)

【会場・営業時間】①畑のめぐり(仙台市青葉区中央1丁目10-23) 午後5時～午前0時  
②モグラ(仙台市青葉区一番町4丁目5-12) 午後5時～午前0時  
③ヴェランダ(仙台市青葉区一番町3丁目1-1) 午前11時～午後4時30分、午後5時30分～午後10時

【問い合わせ】  
▼(有)カフェリエイト(畑のめぐり内)  
☎ 0222(224)8889  
▼産業経済部ブランド戦略室  
☎ 0220(34)2549

**第64回登米芭蕉祭**  
俳句大会の作品を募集

【大会日時】6月28日(日) 開  
会 午後1時(受け付け 午  
前9時)～  
【会場】登米公民館  
【応募要領】  
①兼題の部  
▼投句 未発表3句1組、所  
定の用紙または原稿用紙に住  
所・氏名・俳号・電話番号・  
当日の出欠を明記(氏名およ  
び読みにくい時にはフリガナ  
をつける)▼投句料 1組に  
つき千円(現金書留)▼投句締  
め切り 5月22日(金) 当日消  
印有効  
②席題の部  
▼席題 午前9時(発表は当  
日の会場)▼投句 午前10時  
30分締め切り(1人2句)▼投  
句料 千円  
【投句先・問い合わせ】 登米芭  
蕉祭俳句大会実行委員会(登  
米総合支所内) 〒987-1  
0792 登米市登米町寺池  
目子待井381番地1  
☎ 0220(52)2111

【委嘱内容】日常生活の範囲  
内で知り得た河川に関する情  
報の提供など  
【活動区間】北上川柳津大橋  
(国道側)～二股橋  
【募集人員】1人(応募者多数  
の場合は書類選考で決定)  
【任期】本年7月1日～平成  
28年6月30日  
【報酬】月額4500円程度  
【応募方法】履歴書(写真貼付)  
を送付の上応募してください  
【応募期限】5月15日(金)  
必着  
【応募先・問い合わせ】国土  
交通省北上川下流河川事務  
所 占用調整課 〒986-1  
0861 石巻市蛇田字新下  
沼80番地  
☎ 02225(94)9851

**第6回登米市長杯パーク  
ゴルフ大会参加者募集**

【日時】5月17日(日) 雨天決  
行  
【場所】大崎市田尻「加護坊  
パークゴルフ場」  
【参加人数】約120人  
【参加料】600円(入場料)  
【参加申し込み】5月10日  
(日)まで  
【申し込み・問い合わせ】事  
務局 三浦隆悦  
☎ 090(1063)3450

ねんきんだより  
「ご存じですか？」  
「学生納付特例制度」

20歳以上になると、学生  
であっても国民年金に加入  
しなければなりません。  
しかし、学生は一般的に  
所得が少ないため、本人所  
得が一定額以下の場合、国  
民年金保険料の納付が猶予  
される「学生納付特例」が  
あります。

対象となるのは、学校教  
育法に規定する大学(大学  
院)、短期大学、高等専門  
学校、専修学校、一部の海  
外大学の日本分校などの学  
生です。また夜間・定時制  
課程や通信制課程も含まれ  
ます。

学生納付特例の承認期間  
は4月から翌年3月までと  
なります。

次年度も在学  
することを申し出ている場  
合は、再申請の用紙が送ら  
れますので、必要事項を記  
入し返送することになりま  
す。

保険料を未納のままにし  
ておくと、年金を受け取れ  
なくなり、納めること  
が困難な場合は、申請をし  
ましょう。また、平成27年  
度は学生納付特例制度を利  
用せず、保険料の納付を希  
望される場合は納付書を送  
付しますので、お近くの年  
金事務所にご連絡くださ  
い。

【問い合わせ】  
▼市民生活部国保年金課年  
金医療係  
☎ 0220(58)2166  
▼古川年金事務所国民年金  
課  
☎ 0229(23)1203

と「これからの中小企業の  
生き方」/須田慎一郎氏(経  
済ジャーナリスト)

【聴講料】無料  
【入場者】200人まで  
【申し込み】5月12日(火)ま  
で電話でお申し込みくださ  
い。  
【申し込み・問い合わせ】(公

人と環境への  
新しい優しさを目指して  
お気軽にご相談下さい

**株式会社 清建**  
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

環境プロバイダ  
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535

有限会社 清建物流  
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495

仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告  
TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980

南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313  
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122  
URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所  
有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所  
すずらん託児室  
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728  
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)  
【すずらん託児室】TEL.0220-22-7755

安心・安全・安価で予約承り中 広告  
お料理 2,000円より承ります (バス送迎無料)

株式会社 刺烹くまがい  
TEL.0220-34-5002(代)  
TEL.0220-34-8707  
TEL.0191-82-2946

思いやりと真心を感謝の気持ちにこめて 広告  
迫町佐沼中江にセレモニールホールオープン!!

さぬま中江齋苑 (ツルハドラッグ佐沼店様前)  
1式 葬儀料金 20万円  
どこよりも安心・安価

株式会社 誠香社  
24時間電話受付  
23-9270

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。



とめ市民活動プラザ  
Sato Yukihiro  
マネージャー 佐藤 幸広 さん

## 皆さんの活動を支援します

市民活動に参加してみたい。仲間たちでさまざまな取り組みをしてみたいけど、どうすればいいかわからない。そんな皆さんを支援するのが「とめ市民活動プラザ」です

「とめ市民活動プラザって何」と聞かれることがあります。当プラザは、市が設置しており、まちや地域のために活動している団体の手伝いや生活していく上での困りごとなどの解決に向けての支援などをしています。具体的内容は、積極的に活動をしているグループを、私たちのブログに掲載して多くの人に知ってもらったり、ボランティアグループの事業方針の相談を受けたりしています。障がい者の家族が誰に

も打ち明けられずに苦しんでいれば、同じような悩みを持つ人が集まるサークルを、地域のために何かをしたい人には、同じように考えている仲間を紹介しています。さらには、現在市内のコミュニティ組織が進めている「地域づくり計画」への支援や協力などもしています。支援とは、手取り足取り何かをしてあげるのではなく、その人に必要な情報を提供することでもあると思っています。これだけでは分かりづらいかも知れませんが、興味がある人は、ぜひプラザに足を運んでください。私と女性スタッフ2人の職員3人でお待ちしています。現在、当プラザは次のような取り組みをしています。①年4回、とめ市民活動プラザニュース「ぶらっととめ」



各種講座や団体交流会など、いろいろな取り組みをしています。ぜひ足を運んでください

を発行し、非営利組織(NPO)・市民活動団体などの紹介やお知らせを掲載しています。また、H@!FM(ハット!エフエム)で第2・4火曜日の午前11時30分から「しゃべラジ!ぶらっととめ」コーナーを始めました。ぜひお聞きください②NPOや市民活動団体同士の「つながり」を大切にするため、定期的に交流会を開催しています。【連絡先】登米市迫町佐沼字南元丁41-5 ☎0220(44)4167 (FAX兼) http://www.tome-shiminzaplaza.jp/ npo@tome-shiminzaplaza.jp 【開館時間】午前10時～午後6時 【休館日】毎週月曜日。12月29日～1月3日

### 5月の納税

固定資産税……………第1期  
国民健康保険税……………第1期  
介護保険料……………第1期  
水利地益税……………第1期

忘れずに納めましょう  
納税は便利な口座振替で

納期限/6月1日(月)

### 登米市の人口・世帯数

(平成27年3月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,533	10,291	10,977	21,268(▲35)
登米	1,810	2,401	2,634	5,035(▲37)
東和	2,444	3,364	3,502	6,866(▲33)
中田	4,895	7,731	8,192	15,923(▲58)
豊里	2,133	3,364	3,467	6,831(▲13)
米山	2,856	4,742	4,967	9,709(▲12)
石越	1,616	2,577	2,657	5,234(▲20)
南方	2,614	4,294	4,561	8,855(▲47)
津山	1,218	1,722	1,878	3,600(▲18)
合計	27,119	40,486	42,835	83,321(▲273)

※平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳制度の対象になったため、上記人口・世帯数に含まれています。

### 市内の交通事故発生状況

(平成27年3月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H27	H26	増減数
人身事故発生件数	69件	100件	▲31件
死者数	1人	0人	▲1人
負傷者数	103人	125人	▲22人
物損事故発生件数	406件	553件	▲147件

※平成27年1月からの延べ件数

警察署からのお知らせ  
○用水池に車が転落する交通事故が発生しました。車の運転に注意し、交通事故防止に努めましょう。  
○トラクターの関係する事故が多発しています。トラクターの運転にも注意しましょう。  
○出会い頭の交通事故が多発しています。見通しの良い交差点でも安全確認を徹底し、安全な速度で進行しましょう。

### 市内放射線の測定結果

(測定日:平成27年4月10日)

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.06	曇り
消防署北出張所(石越)	0.06	曇り
消防署東出張所(東和)	0.04	雨
消防署(仮設)津山出張所	0.06	雨
消防署南出張所(豊里)	0.05	曇り
消防署西出張所(南方)	0.05	曇り

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

### 開館15周年記念 特別企画展「鉄拳のパラパラマンガの世界展」

【開催期間】4月11日(土)～7月5日(日)  
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌平日)  
【入館料】大人700円、中高生500円、小学生200円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(7月は午前9時～午後6時) ※入館は閉館の1時間前まで

### 歴史博物館 春のイベント

★博物館ボランティアによる 民具解説  
【日時】4月25日(土)、26日(日) 午前10時～午後3時30分  
【会場】民具展示館  
★くわい作りと本物の土器を洗う体験  
【日時】4月29日(水・祝) ①午前10時～11時30分 ②午後2時～3時30分/対象:小学生以上(小学生未満は保護者同伴可)/会場:研修室/参加費:200円(材料費)/定員30名/会場:巨理邸

### お茶席(旧巨理邸)

【日時】5月2日(土)、3日(日) 午前11時～午後1時/定員:各日20人/参加費:300円(抹茶・和菓子代)  
★企画展関連行事 講演会「伊達八百年の歴史絵巻」  
鎌倉時代から幕末までの伊達家の歴史を紹介  
【講師】伊達宗弘氏(仙台大学客員教授)  
【日時】5月3日(日) 午後1時30分～3時30分/会場:旧巨理邸  
★街頭紙芝居  
【日時】5月4日(月・祝) ①午前10時30分 ②午後1時30分/会場:30分/会場

### 博物館前芝生

★横山不動尊(津山町)を解説付きで見学  
【日時】5月5日(火・祝) 午前10時～11時30分/対象:当日に横山不動尊まで自力で来られる人(歩きやすい服装でご参加ください)/定員:10人 ※要予約  
★くわい作りでオリジナルのコサージュ作り  
【日時】5月6日(水) ①午前10時30分～11時30分 ②午後2時～3時/会場:旧巨理邸/参加費:200円(材料費) ※要予約  
【その他】講演会、横山不動尊見学、民具解説、紙芝居は参加無料です。  
【問い合わせ】市歴史博物館 ☎0220(21)5411

### 春の創作「野草展」を開催します

丹精込めて育てあげた春の野草を、ぜひ鑑賞ください。  
【日時】5月9日(土)・10日(日) 午前9時～午後5時(10日は午後4時まで)  
【場所】道の駅津山・もくもくランド内「伝習館」(登米市津山町横山字新細屋24)  
【問い合わせ】五葉野草会 会長 佐々木清司 ☎0225(68)2897

●おわびと訂正  
広報とめ4月1日号の9ページ「農業ビジネス、実践へ」の中の「わかば園芸」は、正しくは「若葉園芸」でした。おわびして訂正いたします。

# ときめき人

Tokimeki bito

## 全日本アンダー 14チームに選出。 全国レベルの高 さを痛感し、日々 努力



東和町・錦織1区

### 幸野 紅映さん

この・くれば  
平成12年生まれ 血液型/B型

#### Profile

東和中学校3年、錦織小学校卒。兄と妹の3人兄妹。祖父、父、3人のおじもソフトテニスを経験し、全員が県大会以上での上位入賞を果たしているソフトテニス一家。ソフトテニスは小学校から始め、現在ハマっているものは「ソフトテニスマガジン」と言うほどのテニス少女。

「選ばれると思っていたのがなかったので驚きました。とってもうれしかったですね」と笑顔で語る紅映さん。

昨年12月、公益財団法人日本ソフトテニス連盟の全日本アンダー14チームの選手に選ばれました。全日本アンダー14チームは、今後日本代表として活躍が期待される選手の技術向上を目的に結成されています。この選考会には、全国から36人が選出され、その中から20人がチーム入り。選考合宿は昨年11月に宮崎県で開催。「このままでは通用しない。もっと頑張らないと」と、全国レベルの高さを痛感。練習が終わった後も、参加選手たちと話し合い、

研究しました。

テニスを始めたのは小学1年生。コーチをしている父の姿を見て、やってみたく思ったのがきっかけでした。その後「東和JST」に入団し、テニス一筋に打ち込んできました。

中学校に入ってから始めたテニスノート。自己分析し、改善策などを書いています。強くなるために欠かせません。

プレーは、あきらめずに粘って粘って拾い続けるタイプ。拾い続けて相手に競り勝ちます。昨年の中総体。調子が悪く、思うような成績を残せませんでした。「今度は全中に出場し、まず1勝したい」と闘志を燃やしています。

## 編集後記

▼前任の遠藤よりバトンを受け、4月から新たに担当となりました。今後ともよろしく願います。紙面を全面リニューアルしました。大切なのは、紙面だけではなく自分の意識のリニューアル。能力より努力、知識より意識。この言葉を胸に日々精進していきます。(及川)

▼新学期が始まりました。先日、登米総合産業高校の開校式、入学式の取材に行ってきました。真新しい校舎に制服姿の新入生。見ている私が身の引き締まる思いでした。「広報とめ」もリニューアル。これからも市民皆さんの笑顔を届けたいと思います。(佐藤)

▼4月2日、東和総合運動公園多目的グラウンドのリニューアルオープニングセレモニーの取材に行ってきました。人工芝で整備された鮮やかなグラウンド。セレモニー後、グラウンドが開放され、待ちに待った住民たちが思い思いに楽しんでいました。(田代)



モバイルとめ  
(携帯電話版ホームページ)  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス  
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

